

ホワイトテーブルin札幌

ホワイトテーブルについて

〈ホワイト〉は北海道を象徴し、〈テーブル〉は円形テーブルを意図します。ここでの相互往還は芸術や、芸術教育について固定概念を気持ち良く外し、どのような立場、領域、分野を問わず平等に語るきっかけを創り、懇談後は爽快な気持ちが生まれることを期待する場としました。「ホワイトテーブル」をよろしく。

さて、いま起きている3Dプリンターに代表されるデジタルの新しいうねりを「第三次産業革命」と呼ぶ人も多いようです。

造形芸術やその教育は、18世紀後半の動力発明の「第一次産業革命」、19世紀後半以降へとつづく「第二次産業革命」（製造業の変革）との遭遇を経て、いまや「デジタルツール」との接触段階に入っています。造形美術教育の諸分野はこれからどのような未来像を描けばよいのでしょうか。

2/11

日時：2月11日 午前9時半開始(9時受付開始)

場所：北海道教育大学 札幌駅前サテライト教室2
札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55 4階

Symposium part I

美術・デザインの未来教育展望

9:00 受付開始

9:30 開会の挨拶

9:40 北海道教育大学・学長挨拶 本間 謙二

韓国基礎造形学会・会長挨拶 張 光執

10:00 講演I「図画工作・美術教育分野における教員養成を考える
—北海道教育大学の歩みと展望—」

村瀬 千檜 元・北海道教育大学教授

10:55 講演II「リアリティの新しい状況と芸術教育の場」

李 元坤 韓国檀国大学校教授

11:40 質疑応答および意見交換

12:00 記念撮影

Symposium part II

3Dプリンターが登場する時代の造形美術教育

13:00 経緯報告

13:10 講演I「デジタル時代の造形教育」

蓮見 孝 札幌市立大学学長

14:05 シンポジウム「3Dプリンターが登場する時代の造形美術教育」

森實 祐里 (札幌市立星置東小学校教諭)

山崎 正明 (北翔大学准教授)

徐 英 杰 (筑波大学博士後期課程)

15:00 講演II「3Dに再現すること～芸術(アルス)と技術(テクネ)の間で～」

渡辺 晃一 福島大学教授

15:45 質疑応答および意見交換

宮脇 理 (コメンテーター：元・筑波大学)

16:30 閉会の挨拶

主催：北海道教育大学札幌校 図画工作・美術教育分野

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会(申請中)

□ 第66回さっぽろ雪まつりは、2015年2月5日(木)～11日(水・祝日・建国記念の日/ホワイトテーブルin札幌)の日程で開催されます。

▼ 参加申し込み先・お問い合わせ先(メールまたは電話でお知らせください)

①お名前/②勤務先/③ご連絡先：電話・メール。

※ 準備の都合上2月7日(土)までお願い致します。

申し込みいただいた情報は、本事業以外には使用いたしません。

佐藤昌彦 sato.masahiko@s.hokkyodai.ac.jp 090-7646-8788 (携帯)

2015

ぜひ札幌へおいでください。